

保育園見学にご利用ください

●保育園見学チェックポイント

- 保育士が見守る中、子どもが夢中で遊んだり、くつろいでいるか
- 保育士が子ども目線で話しかけているか
- 園長や保育士は話しやすく信頼がおけそうか
- 人手不足だったり保育士が憔悴していたりしないか
- 安全（高い家具類の転倒防止、ドアの指はさみ防止など）対策は？
- 清潔（沐浴設備やシャワーの完備、掃除など）かどうか
- 絵本やおもちゃは十分にあるか 子どもが選べるように置かれているか
- 陽当たりや風通しがいいか
- 乳幼児の部屋と幼児の部屋は分けられているか
- 赤ちゃんが安心して眠れるスペースになっているか
- 子どもが過密になっていないか
- 園庭の広さは？
- 掲示物はどんな感じ？
- 子どもたちの持ち物は？
- 給食の献立表は？

見学で聞くべきポイント

見学で聞きたいことは、自治体の案内には書かれていないこと。とくに園の方針で不明点があれば聞きましょう。おさえておきたいポイントは、保育の体制や子どもの扱い育ちについての考え方、安全面や衛生面です。園長や保育士が、ママが働くことを応援しているかどうかも大事。話してみるとある程度、察せられます。そのほか、給食やアレルギー対応など、聞きたいことは事前にまとめておくといいでしょう。

●保育園見学で聞くことチェックリスト

- 乳児の保育に担当制を取り入れているか？ *
- 子どもの園での生活や活動で大切にしていること **
- 保育士・看護師などが有資格者で常勤かどうか
- 保育料のほかにかかる料金はあるか？
- 年間を通して行事はどんなものがあるか？
- 親参加行事の曜日や頻度は？
- 保護者とのコミュニケーションはどのようにしているか？
- 給食は園内調理か？ 素材からの調理か？
- アレルギーへの対応は？
- 持ち物や用意するものは？
- SIDS対策はしているか？ うつぶせ寝についてどう考えているか？

* 乳児の心の発達にとって養育者との関係が重要であるため、泣いたとき、食事や睡眠のときなどになるべく特定の担当者が対応するようにする保育を担当制と呼んでいる。全時間を通して担当制を実施するのは無理なので、「ゆるやかな担当制」にする園も多い。

** 保育所保育指針や幼稚園教育要領は、子どもの主体的な遊びを通して教育を行うと定めていて、子ども自身の興味・関心が伸びるような保育を行うことが、子どもの自己肯定感を培ううえでも重要と考えられている。

資料：「Benesse たまひよ」ホームページから普光院
亜紀氏監修の保育園の選び方より抜粋